

EZ-WIN総合評価シート		23.8.6(日)札幌11R G3エルムS ダ1700m 3歳上 別定 15:35																				
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重	予想人気	相対指数	スパイス血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レース適性
20	39	注	1	1	美)ベイヤエス	牡4	59	7		R		B	G2J	G1J	G2J	12	83	11	菅原明	小西一		A
4	17		2	2	栗)ファルコニア	牡6	58	13				B	8,9	5,13	2,14	10	128	0	吉田隼	高野友	R	
4	56	▲	3	3	栗)パプチドナイル	牡5	57	1	A	RB		A	1,1	1,2	1,9	17	62	100	富田暁	武英智	R	B
6	23		3	4	美)ワールドタキオン	牡5	57	2	A				4,7	3,1	5,1	31	79	17	斎藤新	斎藤誠		
58	46	△	4	5	美)オーソリティ	牡6	58	6		R		A	外G1	外G3	5,5	18	121	11	C.ル	木村哲		注
4	47	×	4	6	栗)セキフウ	牡4	57	4				B	6,1	11,1	15,2	31	74	27	武豊	武幸四		C+
16	20	×	5	7	栗)ロードブレス	牡7	58	9					9,11	G1J	13,1	12	770	11	横山武	奥村豊		C
4	37	◎	5	8	栗)ロッシュローブ	牡6	57	11		RB			5,10	6,13	6,3	12	155	7	浜中俊	田中克		★
5	13		6	9	地)シルトプレ	牡4	57	14					4,16	地方	地方	5	128	4	石川倭	米川昇	R	
11	34	×	6	10	栗)カフジオクタゴン	牡4	58	10		R		AA	5,7	3,9	5,7	11	128	11	池添謙	矢作芳	R	C
9	38	×	7	11	美)タイセイサムソン	牡5	57	3	A				1,2	14,4	1,7	0	110	17	横山和	奥村武		C+
4	40	○	7	12	美)ルコルセール	牡5	57	5	B	RB			4,3	4,9	2,3	13	58	27	鮫島克	堀宣行		B
4	39	★	8	13	美)アシャカトブ	牡7	57	8		雨			3,4	4,6	4,11	9	117	7	丹内祐	小笠倫		C
12	7	×	8	14	栗)ベレヌス	牡6	57	12					1,17	1,15	1,16	0	0	3	西村淳	杉山晴	WR	D+

札幌ダートは午前6:30の発表で重から不良に変更されました。

雨馬場のエルムSは、サンデー系を親に持つ馬が最強です。
また、中距離実績馬が走りやすくなるのも雨馬場のエルムSの特徴です。

脚質は安定して4角を5番手以内で通過している先行力が高いタイプか、
マクリ実績のあるタイプである事が必須条件であると申せましょう。

◎8番ロッシュローブ

父ロードカナロア×母父Tサンデー系の配合馬。
道悪ダート1700mの鬼で、同コース2勝クラスの
大雪山特別では、後にエルムステークスを勝った
フルデブスリーダーの2着に走っております。

浜中殿騎乗では、必ず4角5番手以内に付けており、
近2走の良馬場での惨敗で、ここまで人気落ちするなら
悪い虫がうずいて、つつい狙いたくなってしまいます。

★13番アシャカトブ

雨のダートでは消せないAPインディ系。
特にシニスターミニスター産駒の道悪巧者は
常に激走警戒が必要な存在です。

今回はメンバー唯一のAPインディ系ですから、
狙うべきだと考えます。

○12番ルコルセール

父ロードカナロア×母父サンデーサイレンス
母のラバヤデールは、Dサンデー系種牡馬
ゴールドアリュールの全妹に当たりますので、

ロードカナロア×ゴールドアリュールと同じ意味になります。

小回りよりもコーナー角度が緩いコースに向いており、
小回り函館の前走マリンS2着よりもパフォーマンスが
上がる可能性が高いと考えております。

そして、兩馬場の札幌開催エルムSでは、
前走マリンS2着馬は勝率67%。
マリンS1着馬が、同条件のエルムSでは
未勝利である事を考えますと、コチラに重きを置きたくありません。

注1番ペイシャエス

Dサンデー系エスポワールシチー産駒。

近2走の大差負けと先行力の喪失が、馬のメンタルによるものか、
陣営の作戦によるものかが分かりませんが、
少し評価を下げておりますが・・・。

G1ジャンダートダービー2着馬で重賞ウイナーでもあります。

立て直した効果と距離短縮による変わり身に注意です。

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連・3連複ボックス

3・5・6

くまもん馬券

単勝・複勝 8番

馬連フォーメーション5点

8・12-1・8・12・13

ワイドフォーメーション5点

8・13-1・8・12・13

3連複フォーメーション30点

8-1・8・12・13-印全頭

馬単 5番オーソリティ流し

5番 ⇒ 1・3・8・12・13

		EZ-WIN総合評価シート			23.8.6(日)新潟11R G3レパードS ダ1800m 3歳 馬齢重量 15:45																		
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重	予想人気	相対指数	トレンド血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	最大差評価
8	15		1	1	美)リバートウルー	牝3	54	10						13,1	6,4	14,1	5	22	10	吉田豊	久保田	TR	B
8	40	○	2	2	栗)ソッコータルマカ	牡3	56	5	B	注			B	3,9	3,1	10,13	24	77	20	坂井瑠	四位洋		AA
7	26		2	3	栗)クレメダンジュ	牝3	54	8	C	△				G2J	8,4	9,4	12	82	10	和田竜	鈴木孝		
6	39		3	4	美)マオノアラシ	牡3	56	13	B	△			A	8,2	11,2	9,2	0	54	3	菱田裕	加藤士		A
4	51	注	3	5	栗)ライオットガール	牝3	54	6	A	△			AA	8,2	3,1	4,2	14	82	9	岩田望	中村直		
23	33	×	4	6	美)オメガギネス	牡3	56	4	A					7,1	4,1		13	70	19	戸崎圭	大和田		B
11	37	×	4	7	栗)ツウカイリアル	牡3	56	11	B	△				6,5	11,5	14,1	12	73	9	幸英明	庄野靖	TR	AA
7	17		5	8	栗)ベンダバリラビア	牡3	56	15					A	15,6	9,9	2,8	0	52	2	石橋脩	寺島良	展	
6	52	▲	5	9	栗)ミスティックロア	牡3	56	2	A	血			AA	7,1	7,1	9,1	75	111	21	川田将	矢作芳		B
10	16		6	10	美)パクスオトマニカ	牡3	56	7	A				B	1,16	1,2	10,6	13	73	10	田辺裕	久保田		
5	37	×	6	11	栗)ルクスフロンティア	牡3	56	9	A					3,3	1,4	9,12	11	101	10	秋山真	松永幹		
11	38	×	7	12	栗)マテンロウガイ	牡3	56	14	B	注			AA	7,8	5,2	4,7	5	146	2	角田大	角田晃		
11	53	◎	7	13	栗)エクロジャイト	牡3	56	1	A	注			A	1,1	1,10	1,2	40	92	21	北村友	安田隆		
9	39	×	8	14	栗)クールミラポー	牡3	56	3	A	注				10,1	13,1	7,5	54	113	21	松山弘	寺島良		B
4	37	★	8	15	美)ハッスルダンク	牡3	56	12	A	血			A	7,6	4,1	1,2	3	33	1	杉原誠	中川公	R	B

末脚の要求度が非常に高いダート重賞で、過去10年の3着以内馬30頭の内29頭は、上り5位以内の末脚を使っていました。

また、3着以内馬30頭の「平均4角ポジション」は4.1番手。

つまり、前に行ってメンバー上位の末脚を繰り出す必要があるレースです。

これは、レパードSに限った事ではなく、新潟ダ1800mのコースレイアウトに、その原因があります。

新潟ダートは非常にタイトな小回りコースであり、コーナーで減速するために息が入りやすいのが特徴。

なおかつ平坦コースで、ゴール手前600m地点から全く起伏のないレイアウトになっております。

そしてさらに、東京・中京に次いで直線が長く、4角でひと息入れた先行馬が、長い直線で末脚を存分に発揮できるという訳でございますな。

また、2桁人気馬の激走が頻発するレースですが、父か母父に米国型を持つ馬の激走が目立ちます。

特に、今の新潟1800は米国指向が強いバイアスが出ており、トレンド血統欄に印が付いている馬には注意して下さい。

あと・・・

今年は例年好走馬が複数出る

前走G1組の出走がなく、園田のG2組も出ておりません。

その上、レパードS上位常連の、前走2勝クラスを勝った馬も出ていないと言う「格の低さ」が目立つメンバーとなりました。

そこで、注目すべきは「1勝クラスの勝ち方」だと考えます。

過去10年のレパードSで、前走1勝クラスから参戦して馬券に絡んだ馬は、全て「先行して上り3位以内」で1勝クラスを勝った馬でした。

1勝クラスを「先行して上り3位以内」で勝ち上がった馬は馬番を赤字で表示しておきましたので、ご参考になさってください。

それともうひとつ。

1秒差以上の大差勝ちや、0.5秒差以上の楽勝経験馬の激走も散見されます。特にそれが「上り最速」だった馬の好走率が高く、左回りでのものならなお激走期待値があがります。

該当馬は「最大着差評価」の欄に印を付けております。

◎13番エクロジャイト

父が米国型ヘニーヒューズ

ダートのOPクラスで勝利実績があるのはこの馬だけです。

前走の鳳雛Sで完勝した相手ゼットリアンは、

その2走後に2勝クラスを楽勝しており、牡馬混合2勝クラスを勝てていないメンバーが相手であれば、実績は最上位と言っても良いでしょう。

プリンカー装着後の3戦は、全て4角を先頭で通過する安定感を見せており、コーナー4回のコースは負け知らずです。

特に前走の鳳雛Sは「逃げて上り最速勝ち」。

能力の高さを見せつけております。

○2番ソッコータルマカ

父はキングマンボ系のダート種牡馬ホッコータルマエ。

母父がDサンデー系ゴールドアリュールで、

祖母父はダート中距離戦の名血アフリート(米ミスプロ系)

もまれ弱い所があるので、外目の枠に入って欲しかったのですが、未勝利戦を2番手から追走して上り最速で1.5秒の大差勝ち。

前走は2100mへの距離延長と、重馬場で非常に時計が速かった事が敗因ですが、先行馬としては最先着を果たしておりました。

当コースでは騎乗機会(30回)の半分以上で馬券に絡み、複回率が147%に及ぶ鞍上込みでこの評価としました。

★15番ハッスルダンク

父、父母父、母父、祖母父の4L系統が全て米国型。

前走は距離短縮の昇級戦で追走に手間取り、
初めて砂を被った事が敗因で、力負けではないと思います。

今回は、自分から砂を被りに行かなければ
かぶりよりの無い大外枠。

気性が幼いので、大外枠は絶好枠でしょう。

未勝利戦、1勝クラスを前に行って上り1位・2位で連勝し、
どちらも大楽勝でしたから、砂の1800mなら能力が高いと見ます。

休み明けで追い不足だった前走とは
見違えるほどの出来だそうで、激走の舞台は整いました。

▲9番ミスティックロア

この馬も4L系統が全て米国型の配合馬です。

夏の中距離ダート戦では、
「芦毛の牡馬」の単勝を全買いすれば、単勝回収率261%！！

2勝馬をこの人気で買いたくないのですが、
米国指向が強いトラックバイアスと、芦毛である事を考えますと
「しゃーなしやで」と言いながら重い印になりました。

注5番ライオットガール

父APインディ系シニスターミニスターに
母父ハーツクライの配合(牝馬)は、ダ1800mでの
複勝率が67%のニックス配合になります。

特に8月は複勝率が75%を超える
「夏は牝馬」の生きた見本のような配合です。

牝馬限定戦ではありますが、
2勝クラスを先行して上り最速勝ち。
前走の3勝クラスも、古馬の牡馬を相手に
僅差の競馬で4着ならば上出来でありましょう。

馬券

ワイド 15-2・5・9・13

馬連 13-2・5・9・15

3連単1頭軸流し12点

13⇒2・5・9・15

3連複フォーメーション26点

13-2・5・9・15-印全頭

EZ-WIN予想の馬券構築について

EZ-WIN予想に打っている印によって
おススメの馬券は、以下の通りとなります。

馬連

◎から流し。相手は○▲★☆△

通常は4～5点になります。

3連複フォーメーション

買目平均は30点前後になりますが

10万級の大きな馬券を取りこぼして悔しい思いを
しない為には、トリガミの覚悟も必要です。

1列目：◎

2列目：○▲★☆△

3列目：印全頭

ワイド

★ー◎○▲

★の単複